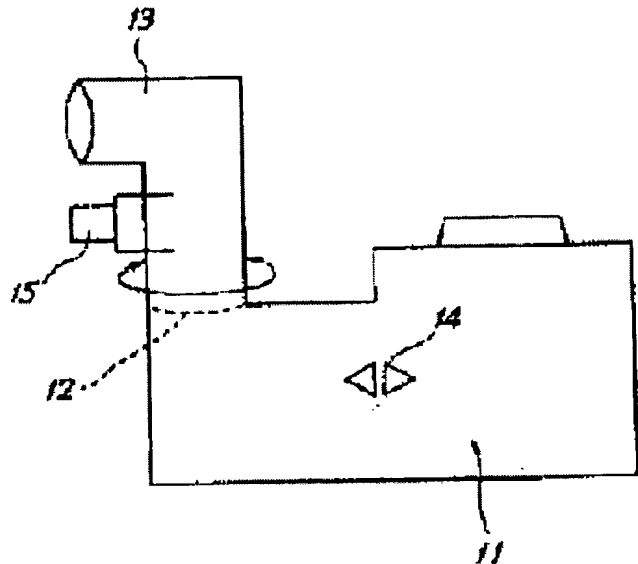


VIDEO IMAGE PICKUP DEVICE

Patent number: JP3254577
Publication date: 1991-11-13
Inventor: HAMAZAKI SHOJI
Applicant: MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD
Classification:
- **International:** G03B17/12; G03B37/02; G11B33/06; H04N5/225
- **European:**
Application number: JP19900054190 19900305
Priority number(s): JP19900054190 19900305

Abstract of JP3254577

PURPOSE: To realize a video image pickup device able to prevent the deflection of a picture and blurring by providing a lens part able to photograph toward an arbitrary direction. **CONSTITUTION:** Photographing is executed with a lens part 2 toward an object at the photographing, when the object moves, the photographing is executed with a lens part 13 toward the object without moving a movie main body 11 by operating a switch 14 and making the lens part 13 drive with a driving part 12. Besides, sound is recorded at the same time by providing a microphone 15 at the neighborhood of the lens part 13. Thus, even when the object moves, it is not necessary to move the movie main body 11 and the deflection of a picture and so on owing to the blurring of an image pickup device at the photographing can be prevented.



Data supplied from the *esp@cenet* database - Worldwide

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A) 平3-254577

⑬ Int. Cl.³

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成3年(1991)11月13日

H 04 N 5/225
G 03 B 17/12
37/02
G 11 B 33/06

D 8942-5C
Z 7634-2K
7811-2K
C 7177-5D

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 映像撮像装置

⑯ 特 願 平2-54190

⑰ 出 願 平2(1990)3月5日

⑱ 発 明 者 浜 崎 祥 司 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内
⑲ 出 願 人 松下電器産業株式会社 大阪府門真市大字門真1006番地
⑳ 代 理 人 弁理士 森 本 義 弘

明 細 書

1. 発明の名称

映像撮像装置

2. 特許請求の範囲

1. 撮像装置本体と、この撮像装置本体に設けられて撮影するためのレンズ部と、このレンズ部を撮像装置本体に対して駆動させる駆動部と、この駆動部を操作するスイッチとを備えた映像撮像装置。

3. 発明の詳細な説明

産業上の利用分野

本発明は、映像撮像装置に関するものである。
従来の技術

近年、映像撮像装置特にビデオ一体型カメラ(以下ムービーと称す)の需要は著しい伸びを示している。そうした中で一般的な使用は被写体を撮影する際、被写体の動きに合わせて、ムービーを動かして撮影していた。

以下に従来の映像撮像装置の一例について説明する。第2図において、1はムービー本体、2は

このムービー本体1の前端部のレンズ部である。

この第2図に示すムービーの動作について説明すると、まず、被写体を撮影する場合、レンズ部2を被写体に向けて撮影し、レンズ部2に写された被写体はムービーの場合ではムービー本体1で記録される。仮に、被写体が動いた場合、その動作に合わせて、ムービー本体1およびレンズ部2を動かして撮影される。

発明が解決しようとする課題

しかしながら上記の従来の構成では、被写体の動作に合わせてムービー本体1やレンズ部2を動かすため、それにより画像のブレや揺れを生じるという欠点があった。

本発明はこのような課題を解決するもので、たとえ被写体が動いても、レンズ部のみが被写体に合わせて動作し、本体部分は動かずに撮影でき、画像のブレや揺れを防止できるようにした映像撮像装置を提供することを目的とするものである。
課題を解決するための手段

この課題を解決するために本発明は、撮像装置

本体と、この撮像装置本体に設けられて撮影するためのレンズ部と、このレンズ部を撮像装置本体に対して駆動させる駆動部と、この駆動部を操作するスイッチとを備えたものである。

作用

この構成によって、撮影中に被写体が動いた場合でも、レンズ部のみを駆動させ、被写体側に向けることにより、本体部分の動きをなくしてブレや揺れを防止することができる。

実施例

以下、本発明の一実施例について、図面に基いて説明する。

第1図において、11はムービー本体で、その前部には被写体の動きに合わせて駆動部12により駆動されるレンズ部13が360°回転可能に設けられている。14はレンズ部13を操作するためにムービー本体11に設けられたスイッチ、15はレンズ部13と一体に駆動されるようにレンズ部13の近傍に設けられた音声用マイクロホンである。

次に、以上のように構成されたムービーの動作

について説明すると、撮影時は被写体にレンズ部2を向けて撮影するのであるが、被写体が動いた場合、スイッチ14を操作して駆動部12でレンズ部13を駆動させることにより、ムービー本体11を動かすことなくレンズ部13を被写体に向けて撮影することができる。また、レンズ部13の近傍にマイクロホン15を設けてあることにより、音声を同時に録音することができる。

以上のように本実施例によれば、ムービー本体11とは別の動きが可能で被写体に合わせて動作するレンズ部13とマイクロホン14およびそれらを駆動する駆動部12を設けることにより、被写体が動いてもムービー本体11を動かす必要なく、撮影時の撮像装置の揺れによる画像のブレなどを防止することができる。

なお、上記実施例において、マイクロホン15をレンズ部13の下に設けたが、上に設けてもよい。

また、レンズ部13とマイクロホン15をスイッチ14で同時に操作させるようにしてあるが、それぞれ別々にスイッチを設け、別々の操作を行なえる

ようにしてもよい。

発明の効果

以上のように本発明によれば、任意の方向に向けて撮影できるレンズ部を設けてあることにより、撮像装置本体を動かさずにレンズ部のみを動かして撮影できるので、画像のブレや揺れを防止できる優れた映像撮像装置を実現できるものである。

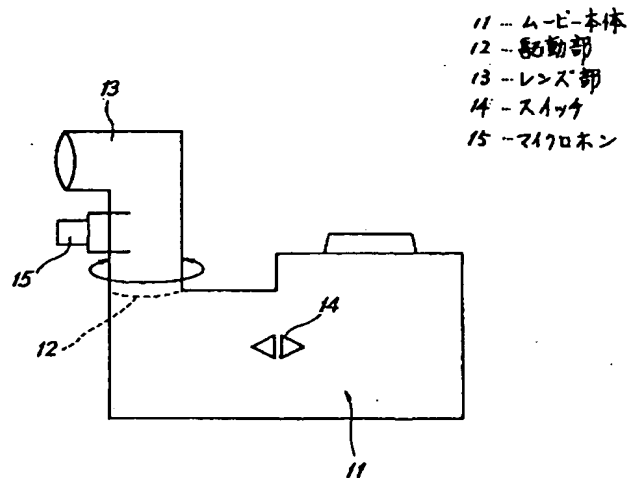
4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例における映像撮像装置の側面図、第2図は従来の映像撮像装置の側面図である。

11…ムービー本体、12…駆動部、13…レンズ部、14…スイッチ、15…マイクロホン。

代理人 森 本 義 弘

第1図



第 2 図

